

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科

形成外科学講座

研究責任者： 漆館 聡志

当院では患者さんの試料・情報を利用させていただき、下記の臨床研究を弘前大学大学院医学研究科倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、下記連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

臨床研究名称 顔面皮膚悪性腫瘍基底細胞癌の手術における**エステティックユニット**と適切な**切除範囲**の検討

### 研究の目的

基底細胞癌は、皮膚悪性腫瘍のうち遠隔転移をすることが珍しい癌であり、適切な治療を受けることで完治すると言われていています。その中でも外科的に切除する方法において、どれ位の切除範囲を設けて切除すると再発リスクが減るかという疑問に対して、様々な議論がなされてきました。この研究では、顔面にできた基底細胞癌に絞り、少ない切除範囲で再発リスクを減らすにはどうしたらよいかを明らかにするため、顔面の基底細胞癌の特徴と再建術式を患者さんの実際の治療結果をまとめてデータを解析します。そしてできるだけ患者さんへの負担を減らし、切除する部分を減らしつつ、癌を治し、さらに整容面を保つ方法を検討します。

研究実施期間 実施許可日 ~ 令和8年3月31日

対象となる方 2013年1月1日~2022年12月31日までに、弘前大学医学部附属病院形成外科で顔面の基底細胞癌を切除する手術を受けられた患者さん。

### 利用させていただきたい試料・情報について

当院のカルテに記録されている情報のうち、顔面の腫瘍の部位、大きさ、腫瘍の色や境界、手術所見、再発の有無、病理検査結果について、標記研究課題実施のために利用します。具体的に、手術の再建方法と基底細胞癌の再発率について、統計解析的手法を用いて比較します。さらに顔面の部位を再建しやすくするために細かく分類し**(これをエステティックユニットと呼びます)** それぞれにできた基底細胞癌の種類や悪性度、**断端と腫瘍との距離**を病理組織を確認して再評価したいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合は下記へご連絡ください。

患者さん / その代理人の方から、試料・情報の利用停止を求める申し出があった場合は、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 形成外科学講座 漆館聡志 0172-39-5119, E-mail: <a href="mailto:urushi@hirosaki-u.ac.jp">urushi@hirosaki-u.ac.jp</a>
-------	---